

2013年5月9日

東南アジア地域での事業拡大を目指し、地域統括拠点をシンガポールに新設

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、東南アジア地域における事業推進拠点となる新会社を、本年7月、シンガポールに設立し、同地域内におけるグループ代表としてAGCグループ東南アジア総代表を置くこととしました。

東南アジア地域（ASEAN加盟10カ国）は、人口では世界の8.8%、経済では世界の3.2%の規模を持ち、新興経済地域として発展を続けています。また、2015年には域内関税撤廃やASEAN共同体創設も予定されており、中長期的な経済拡大により、同地域のGDPは2020年までに約2倍の規模^(注)に成長すると見込まれています。

今後の経済成長に伴い、同地域では、道路、鉄道、橋梁、街づくりなどのインフラ整備が急速に進むなど、総合的な市場拡大が期待されます。

AGCは、1964年にタイにおける板ガラス事業の開始以降、インドネシア、シンガポール、フィリピン等にガラス、電子、化学品、セラミックス事業を展開し、現在東南アジア地域内にて、19社、従業員数約9,000人での事業を運営しています。

今後の東南アジアの経済拡大に伴うインフラ整備やその他様々な産業領域においては、省エネ化やグリーン化などのニーズにも応えた高度で包括的な製品、サービスの提供が求められます。

AGCは、グループの全事業を一体的に推進する新会社を設置し、同地域にてガラス、電子、化学品、セラミックスによる総合的なソリューションを提供しお客様のニーズに応じていきます。

<新設拠点の概要>

1. 名 称 AGCアジア・パシフィック株式会社（AGC Asia Pacific Pte. Ltd.）（予定）
2. 代 表 者 小林 善則
(2013年7月21日付旭硝子（株）執行役員AGCグループ東南アジア総代表
就任予定)
3. 所 在 地 シンガポール
4. 資 本 金 未定
5. 出資比率 AGC 100%
6. 設 立 2013年7月（予定）
7. 事業内容 東南アジア地域の事業推進、グループ製品のマーケティング調査および販売
戦略の企画・推進等

^(注) 外部データに基づく当社推定値

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子（株） 広報・IR室長 上田 敏裕
(担当：杉山 TEL: 03-3218-5603、E-mail: info-pr@agc.com)

<ご参考>

東南アジアにおけるAGCグループの主な連結子会社

国	拠点	設立
タイ	AGCフラットガラス・タイランド・パブリック株式会社	1963年
	AGCオートモーティブ・タイランド株式会社	1974年
	AGCテクノグラス・タイランド株式会社	1995年
	AGCマイクロガラスタイランド株式会社	2006年
	AGCケミカルズ・タイランド株式会社	1964年
	AGCマテックス（タイランド）株式会社	2011年
	AGCテクノロジーソリューションズ・タイランド株式会社	2001年
インドネシア	アサヒマス板硝子株式会社	1971年
	アサヒマス・ケミカル株式会社	1986年
シンガポール	AGCフラットガラス・アジアパシフィック株式会社	2000年
	AGCエレクトロニクス・シンガポール株式会社	2001年
	AGCケミカルズ・アジアパシフィック株式会社	2000年
	AGCシンガポール・サービス株式会社	1985年
フィリピン	AGCフラットガラス・フィリピン株式会社	1988年
	AGCオートモーティブ・フィリピン株式会社	2003年